

オール電化から太陽光へ拡大

大阪商組がセミナー

60人の参加者
提案方法学ぶ

大阪府電機商業組合(香川健二理事長)は2日、大阪市の家電会館でセミナー「オール電化から太陽光発電へ」ECCO商材で商売繁盛」を開催。約60人の組合員が参加した。オール電化の実演販売を行ってきたメーカー出身者が講師となり、IHクッキングヒーターの提案方法やオール電化から太陽光発電、リフォームにつながる提案方法を実演しながら紹介した。

ポスト地デジが叫ばれるなか、アナログ放送停波を見据えた取り組みの中心になるであろうIHクッキングヒーター、オール電化、太陽光発電などの知識を深めることが狙い。ハード面の知識や電気代などソフト面だけでなく、IHの実演を通じて販売手法や提案方法を披露した。

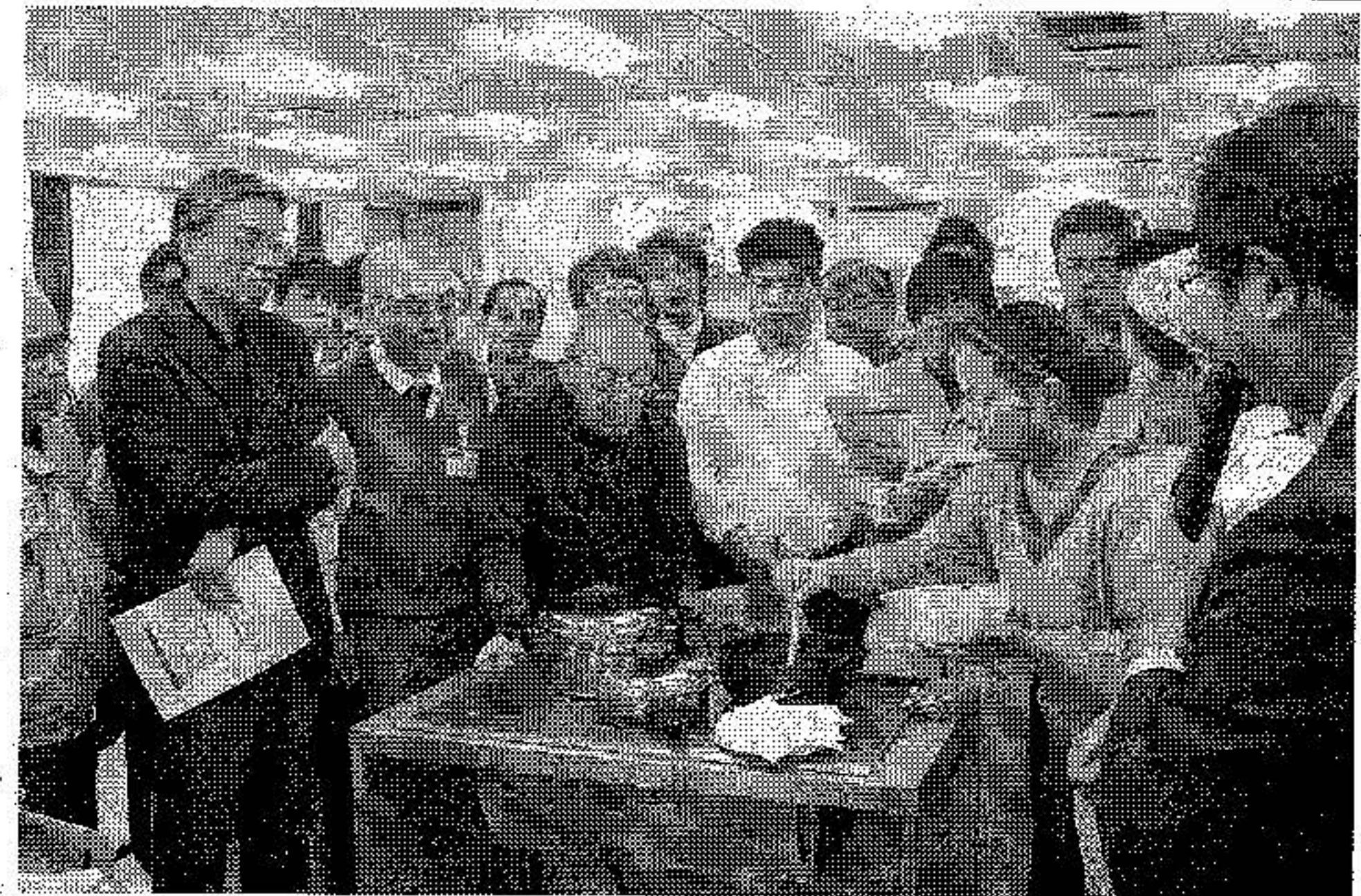
の組みとして、オール電化や太陽光発電、LED照明、3Dテレビなどの商材があがるが、組合ではこれらの商品の研修会を強化する。本日のセミナーはこの一環。第一弾の次世代商品研修として、もうけるヒントを見つけてほしい」と述べた。

違い、オール電化から太陽光発電へのセールスを広げる提案方法を説明。調理実演ではカレーや焼き魚、焼きそば、かき揚げなどを作しながら火が出ない安全性、強い火力、セールストークの注意点を紹介した。

小森代表は「IHを導入できれば、アフターと提案次第でソーラーだけでなくリフォームなどにもつながる。また顧客も増やすことも可能。IH導入先へのフォローをしてほしい」と語った。



激励する香川理事長
小森一史代表
が登壇。IH
クッキングヒ
ーターの調理
実演を中心に
同機のセール
ストークから
ガス機器との



IHの調理実演を行いながらオール電化への知識を深めた